

ペットボトル、レジ袋、洗剤容器、つり糸、おもちゃ、食品トレー、お菓子の袋・・・
海岸にはいろいろな種類のたくさんのプラスチックが流れ着きます。
それではこれらは、どこから来たのでしょうか。

ポイ捨てや不法投棄されたゴミがその出所なのは間違いありません。しかし屋外で思わぬ風に飛ばされたドリンクカップ、カラスに荒らされたゴミ置き場のゴミなど、わざと捨てたのではないゴミも多いと言われます。また洗顔料や化粧品に含まれる「スクラブ」と呼ばれる非常に小さいプラスチックの粒は、排水溝から海へと流れ出ていました。このように知らないうちに海へ流れ出ているプラスチックも多く存在します。(プラスチック製のスクラブは現在法律による禁止や製造元の自主規制などが世界で進んでいます。)

では海のプラスチックゴミの何が問題なのでしょう。
まず1つはプラスチックの丈夫さから、生き物がそれに絡まり身動きが取れなくなる、飲み込んでしまった生き物が消化できずに本来の食べ物が食べられなくなり死に至る、といった問題が起こっています。
次に劣化したプラスチックは海水中の残存化学物質を吸着しやすいという実験データがあります。海中を漂うプラスチックは製造過程で用いられた化学物質に後から吸着したものが加わり、化学物質の塊となっていると言われます。その影響がどれほどなのか今の時点では具体的に分かりませんが、人の暮らしに無関係とは言えないでしょう。

数十年前の海には存在しなかった海のプラスチックゴミ。
きっと無いに越したことはありません。
ただ今の暮らしに、産業に欠かせない様々なプラスチック。
その使用を完全にやめる事はおそらく不可能です。
ではどうすればいいのでしょうか？


- ・海にこれ以上プラスチックが増えないように、ゴミを正しく捨てる。
- ・ゴミになるプラスチックの使用を減らす。

現時点ではこの2つが重要だと言われています。また、街でゴミを拾えば海に行きつくゴミを減らす事にも繋がります。身近にできる事で、ぜひ「海をきれいに そして 豊かな海を未来の子ども達に」に取り組んでみてください。



MEER(メーア)は海の環境保全を目的に活動しています。

現時点で海に出てしまっているプラスチックを回収するビーチクリーンアップ。これから海へ出るプラスチックを減らす呼びかけ、海ゴミの周知活動などを行っています。毎月行うビーチクリーンアップはどなたでもご参加いただけます。ご興味のある方は、どうぞお気軽にお問い合わせください。

 <http://www.ryubokupen.com/meer>
「流木ペン」で検索してください

 meertokushima@gmail.com



instagram



facebook

海とモノコトヒト